



濃茶席点景



『風雅』

書道家による書道作品。右側から順に「茶」、「山」、「風」、「雅」の四字が並んでおり、墨で書かれた草書体で、力強い筆致が特徴。

開創十五周年。そして、釈迦殿の落慶及び不動殿・庫裡の増改築竣工を記念し、その添釜として、六月十日午前十一時より記念茶会が催された。

席主である黒田方丈は、駒沢大学茶道部OBで組織している『一服会』の会長なので、同大学茶道部講師佐々木宗清先生が濃茶席を、部員の学生達が呈茶席を受持たれた。加えて

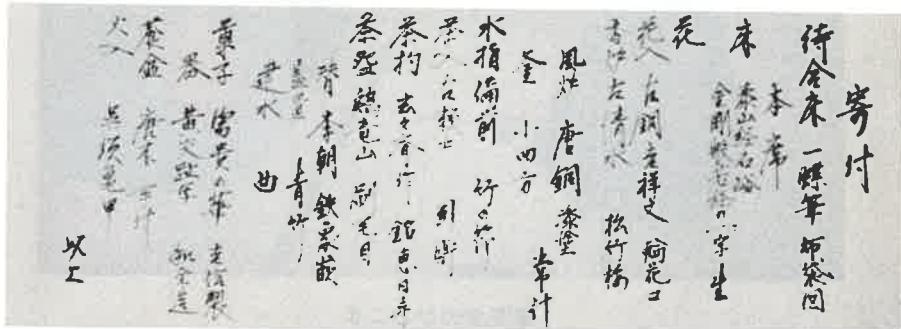


薄茶席のひとこま

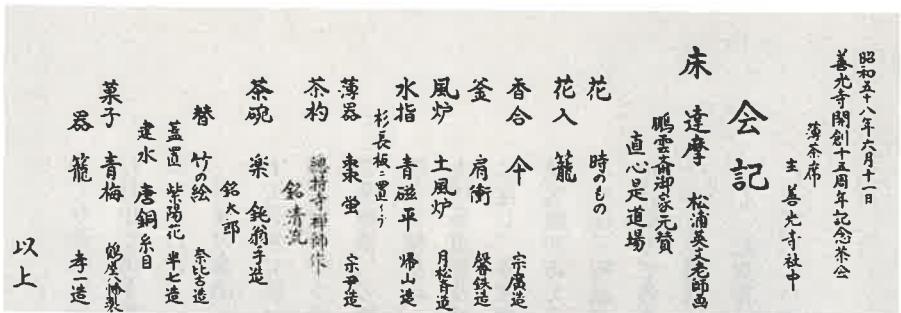
善光寺茶道教室（講師 新美昌道師）の社中で薄茶席を担当し、計三席が設けられた。

前夜の豪雨ですっかり洗い清められた淨域に朝一時のしゅう雨あり、正にかつこうの茶会日和。“室蘭にして茶味清”的感を深める。来席者は、善光寺檀信徒、佐々木先生社中、駒沢大学茶道部及び友部校ほか百七十名に達し、各席満席で、点心には釈迦殿客殿があてられた。

午後二時過ぎ、各席終了し、後片付け済んで各席関係者で会席。なごやかな雰囲気に包まれた一と時を過ごし、記念茶会の成功を祝すると共に、互いに今後の精進を誓い合つた。



会記……濃茶席



会記……薄茶席